

災害・救急時カード

警察 ☎ 110 消防・救急 ☎ 119 災害時伝言 ☎ 171

（フリガナ）

氏名 _____

生年 [西暦] _____ 年生まれ

緊急連絡先 氏名 _____

住所 〒()-()-() _____

心疾患に係る病歴 _____

特記事項 (アノフィラキシー) (血液型) _____

個人情報を扱いますので、記載に際してはご注意ください。 2020年10月現在有効

救命処置の流れ	解説
①周囲の安全確認	傷病者が倒れている現場が危険でない事を確認する
②意識の確認	傷病者の体を軽く揺るがしながら「大丈夫ですか」と呼びかけて、反応を確認する。反応ある場合は頭部保護に
③呼吸の確認	胸に聴き寄れる場合は119番機とAEDが到着するまで
④呼吸の確認	胸段どおりの呼吸をしているか、10秒以内で判断する 胸に聴き寄れる場合は119番機とAEDが到着するまで
⑤胸骨圧迫	1分間に100～120回/分（約1秒1回）で胸骨中央に胸を押し、小児は胸の厚さの約1/3の深さになるように胸を押す
⑥AEDの装着	フタを開けて電源を入れる。黄色い音声の指示に従って胸にパッドを取り付ける
⑦心電図解析 (音声で指示)	心電図解析が始まるので胸部圧迫を中止する (心臓、2分間に自動的に心電図解析が行われる)
⑧電気ショックの指示 (音声で指示)	指示に従って電気ショックをかける 必要ない場合は速やかに胸部圧迫を再開させる
⑨胸部圧迫	指示に従って電気ショックをかけるまで胸部圧迫を続ける (電圧が下がったままでも再開できる)

※機種によってはフタを開けると自動で電源が入ります

表



救命処置の流れ (心肺蘇生法とAEDの使用)

①周囲の安全確認

②意識 (反応) の確認

③応援の要請

④呼吸の確認

⑤胸骨圧迫

⑥AEDの装着

⑦心電図解析

⑧電気ショック

⑨胸部圧迫

⑩AEDの装着・装着

⑪心電図解析

⑫電気ショック

⑬胸部圧迫の再開

⑭①～⑬を繰り返す

⑮胸骨圧迫が到着するまで、電圧パッドは付けたまま胸に装着を続けてください

2020年10月現在有効

裏